

経営者講習会等柱に

県建築協会青年部会総会



部会の発展のため最大限の努力をしていきたい——と挨拶する林部会長＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

県建築協会青年部会（林正英部会長）は4月30日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で16年度定時総会を開き、経営者講習会やIT勉強会の開催、ホームページの構築などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、林部会長（豊明建設）が「青年部会の一歩良いところは、一致団結して取り組む姿勢ではないか。激変の時代ではあるが、変化にすばやく対応するためにも自分自身が変わらなければならぬのでは。今後、皆さんと一緒に同部会の発展のため最大限の努力をしていきたい」とな



創立を祝い乾杯する出席者＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

新年度事業計画は、会員手帳のイントラ移行に伴うコスト削減、経営者講習会や現場見学会・技術講習会、イントラネットの推進、ホームページ構築、IT勉強会などのほか救命救急講習会や高齢者世帯等奉仕作業等一を掲げている。

技術集団として貢献へ

県外壁改修工事業協同組合（理事長・原田毅）は4月30日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で創立祝賀会を開き、県、鹿児島市をはじめ業

第一相互警備保障

サテライト警備へ消火訓練



機敏に消火作業を行う隊員＝大口市の現地で

外車券売場「サテライトみぞべ」の警備を担当することになったことから行なったもの。

集合した参加者を前に井上社長は「警備は生命財産を守る重要な業務。常に第3者の目を意識し、姿勢を正し、制服の品位を守らなければならない。今日は訓練ではなく、本日の火災だと思って行動

してほしい」と挨拶し、早速訓練を開始した。訓練は、火点から10メートルの位置にカラーコーンを立て、さらに25メートル離れた位置に隊員が整列。そこから火点を発見したという設定で行われた。

隊員は1人ずつ拳手して姓名を名乗り「実施します」と発声、機敏な動作でカラーコーンに駆け寄った。そこに準備された消火器を手に火点まで走り、ピンを抜いて消火作業を行った。ガソリンと灯油、水を混合したものに点火した火点は、黒煙を発生して高く燃え上がり、隊員は真剣な表情で消火器を操作していた。

完全に火が消えたことを確認して「状況終わり」と発声、一連の作業は終了したが、参加者の1人、「サテライトみぞべ」で班長を務める小山文男さんは「1日頃の訓練の成果だろうが、全員基本にのっとり大変スムーズに消火できたと思う」と笑顔を見せていた。

品質の確保等に向け一丸となって取り組むと聞き力強い、園田太計夫建設局長（鹿児島市長代談）が「これまで培った経験と実績をもとに、真の技術集団として本市の街づくりの確保等に向け一丸となって取り組むと聞き力強い、園田太計夫建設局長（鹿児島市長代談）が「これまで培った経験と実績をもとに、真の技術集団として本市の街

第一相互警備保障（井上文雄社長、本社・大口市）は4月24日、同市下殿の多目的公園で、社員約20人が参加して消火訓練を実施した。同社が始良郡溝辺町の競輪場

中央駅前広場整備事業や西千石町13番街区市街地再開発事業が昨年度に完成し、関係者が多い中で、いろいろ壁にぶつか

趣味は健康も兼ねて歩くこと。好きな言葉は「ゆくり」と、しかし着実に。鹿児島市鷹師2丁目に夫人と2人暮らし。娘が今年進学し、これで子供2人とも県外に出て「残って」と少し寂しそうだ

致団結して取り組もう」と挨拶を行った。会では15年度事業報告、16年度事業計画・収支予算案などを原案通り可決、役員改選では会長に山下義和氏を選任した。

新役員は次の通り。



鹿児島市都市計画部都市再開発課長に就任した川辺 充二氏



「以前からの職場での就任ですが、課の責任者として改めて気が引き締まります。再開発をはじめ、全て関係の方々と協働して行うものなので、よく話し込んで、和をもって策

推進計画作成調査などのほか、鹿児島県周辺地区において、県連立連立交差事業調査と連携して土地整理



新年度事業計画等を審議した総会＝名瀬市の大福で

笠利町建友会（浜田幸雄会長）は4月30日、名瀬市の大福で16年度通常総会を開き、15年度事業

新役員は次の通り。